



大空は  
明日へつづく

# みんなの学校

出演：大空小学校のみんな

監督：真鍋俊永 ナレーション：豊田康雄 企画：迫川緑 プロデューサー：中尾雅彦 加藤康治 兼井孝之  
撮影：大塚秋弘 撮影助手：堀貴人 編集：北山晃 編集協力：秦岳志 整音：中嶋泰成 音響効果：萩原隆之 題字：谷篤史  
製作：関西テレビ放送 配給：東風

2014年 | 日本 | 106分 | BD・DCP | ドキュメンタリー ©関西テレビ放送

[minna-movie.com](http://minna-movie.com)

会場  
丹波山村  
交流促進  
センター  
入場無料  
誰でも参加可

人口約530人、小中学校の児童・生徒数はそれぞれ約10人。丹波山村の「学校」について、一緒に考えてみませんか？ 赤ちゃんや小さなお子さんと一緒にの参加も歓迎します。

映画「みんなの学校」上映会  
×  
丹波山村親子山村留学説明会

日時：  
3/19 2023年  
(日)

- ① 10:00 ~ 12:00 (9:30 開場)
- ② 14:00 ~ 16:00 (13:30 開場)

各回定員50人。申込不要

主催：丹波山村  
協力：丹波山村移住定住推進協議会



# すべての子供に居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所を見つけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。



## 学校が変われば、地域が変わる。 そして、社会が変わっていく。

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

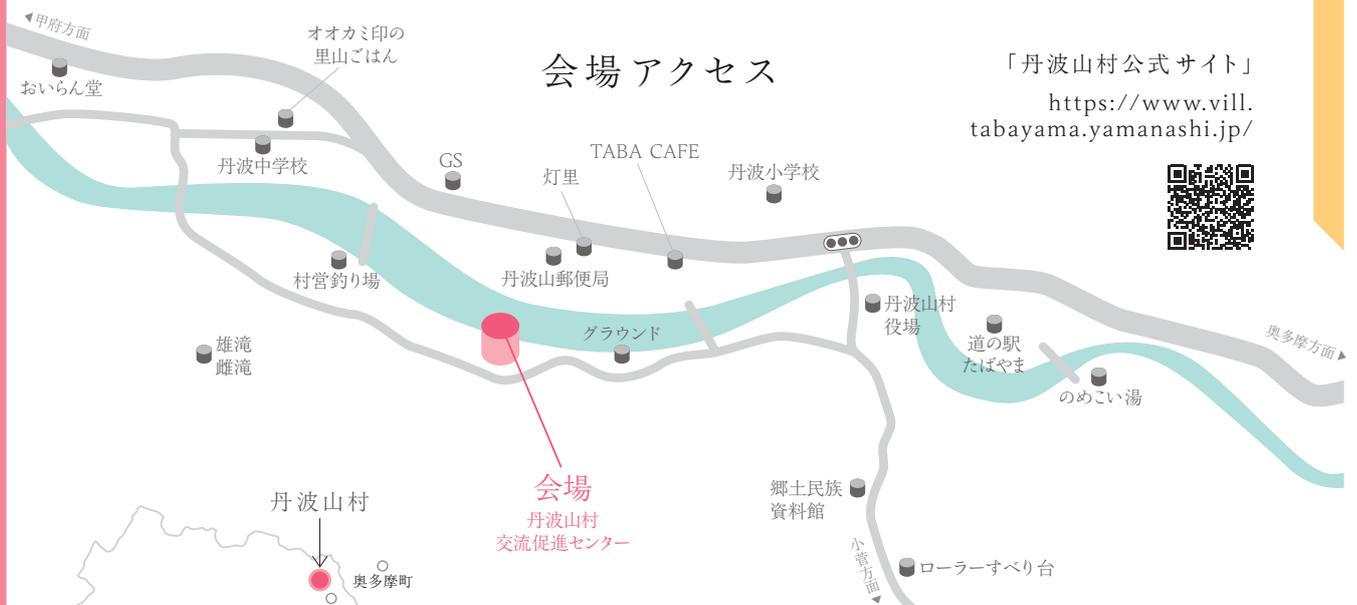
映画は、日々生まれかわるよう育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。



### 会場アクセス

「丹波山村公式サイト」

<https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/>



親子山村留学・丹波山村への移住に関するお問い合わせは、

たばやま暮らし相談室（丹波山村移住定住推進協議会内）へ  
[iju@tabayamacommunity.com](mailto:iju@tabayamacommunity.com)

